

# 日本水土総研セミナー

## 農業・農村施策の評価／ 国土強靱化シンポジウム

参加  
無料

農業と農村は、農業の持続的な発展を通じて国民に食料を安定的に供給するとともに、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成や文化の伝承などの多面的機能を有しています。しかし、農村は都市に先駆けて人口減少・高齢化が進み、集落機能や地域資源の維持が困難となり、多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。

その一方、多様な地域資源を地域の創意工夫で積極的に活用した6次産業化や農業競争力を確保・強化する基盤整備などに取り組み、雇用・所得の創出や都市農村交流、移住・定住などの成果に結びつけ、活性化につながる動きも見られます。

さらに、近年大規模地震の発生や気候変動に伴う自然災害のリスクが高まっており、農村においてもダムの耐震や老朽化ため池対策など「国土強靱化」に向けた取組が重要となっています。

(一財)日本水土総合研究所は設立以来、農業農村を専門とするシンクタンクとして、農業農村整備及び農村振興に関する政策的・技術的課題を解決するため多岐にわたる調査研究を行い、その成果を各方面に発信しています。このたび、その一環として、「農業・農村施策の評価／国土強靱化シンポジウム」と題し、下記のとおりセミナーを開催することといたしました。

本セミナーでは、農業経済学がご専門で、統計的手法による食料・農業・農村に関する分析及び、多面的機能支払いや中山間地域等直接支払制度などの政策効果に関する論文や著書を発表されている北海道大学中谷朋昭准教授から、「農業・農村施策の評価とその考え方」と題してご講演をいただきます。また最近訪問されたデンマーク農業の様子についても写真を中心にご紹介いただきます。

当研究所からは、最近の研究成果の中から、大きな注目を集めている「国営造成農業用ダムの耐震性能照査の現状と論点」と「農産物輸出に係る農業基盤整備の貢献についての分析」について紹介いたします。

多くの方に本セミナーにご参加いただくことで、今後の北海道における地域農業の振興や農地・農業用施設の維持管理に向けた活動の一助となれば幸いです。

日時：平成29年 7月 20日(木) 13:30~16:30  
(開場・受付 13:00~)

会場：札幌市教育文化会館 3階 研修室 305

〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目

TEL：011-271-5821

交通アクセス 札幌市営地下鉄東西線「西11丁目」駅下車 1番出口から徒歩5分

市電「西15丁目」駅下車 徒歩10分

JRバス、中央バス「北1条西12丁目」下車 徒歩1分

※当会館には駐車場がありませんので、公共交通機関のご利用をお願い致します。

定員：120名 (定員となり次第締め切りとさせていただきます。)

主催：一般財団法人 日本水土総合研究所

# プログラム

13:00	開場・受付	
13:30	挨拶	一般財団法人 日本水土総合研究所 理事長 齋藤 晴美
13:40	基調講演 (50分)	農業・農村施策の評価とその考え方 北海道大学大学院農学研究院 准教授 中谷 朋昭
14:30	質疑(15分)	
(14:45~15:00)		休 憩
15:00	講演 (40分)	国営造成農業用ダムの耐震性能照査の現状と論点 一般財団法人 日本水土総合研究所 調査研究部 部長 石井 克欣
15:40	質疑(5分)	
15:45	講演 (40分)	農産物輸出に係る農業基盤整備の貢献についての分析 一般財団法人 日本水土総合研究所 主席研究員 山下 正
16:25	質疑(5分)	

## セミナー会場

### 札幌市教育文化会館 (3階・研修室 305)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目  
TEL:011-271-5821

札幌市営地下鉄東西線「西11丁目」駅下車 1番出口から徒歩5分  
市電「西15丁目」駅下車 徒歩10分  
JRバス、中央バス「北1条西12丁目」下車 徒歩1分



札幌市教育文化会館  
ホームページより

## 講師の紹介

講師 **中谷 朋昭** (なかたに ともあき) 氏  
北海道大学大学院農学研究院 准教授

農業経済学、経済統計学  
統計データに基づいた計量分析や、農地・水・環境保全対策、多面的機能支払い、農地流動化などの構造政策の分析などを研究

### 【略 歴】

- 1969年 埼玉県生まれ
- 1993年 北海道大学農学部農業経済学科卒業
- 1995年 同大学大学院農学研究科修士課程修了
- 2000年 北海道大学 博士(農学)取得
- 2008年 北海道大学大学院農学研究院 助教
- 2010年 Stockholm School of Economics Ph.D. (経済統計学)
- 2014年 北海道大学大学院農学研究院准教授

### 【主な論文・著書】

「農村アメニティの創造に向けて」  
「農地・水・環境保全向上対策の評価と多面的機能支払への展望-政策目標と政策効果-」

このまま切らずに FAX 又はメールで送付してください

## 参加申込書

定員(120名)になり次第  
締め切りとさせていただきます。

所 属 等	参加者氏名	※CPD 登録番号
住 所 〒		
電話番号		

※本セミナーは(公社)農業農村工学会 技術者継続教育機構(CPD)認定プログラムとして申請致します。

## 申 込 先

03-3502-1329 (FAX) または [akihiro-kawahara@jiid.or.jp](mailto:akihiro-kawahara@jiid.or.jp) (メール)

お問い合わせは、日本水土総合研究所 愛宕(あたご)、桑原(くわはら)までお願いします (電話 03-3502-1380)